

# その名はインマヌエル

マタイ 1 : 18 - 25



司祭 ヨハネ 井田 泉

2021年12月24日

降誕日第1聖餐式

彦根聖愛教会にて

ヨセフは夢の中で天使からこの言葉を聞きました。

『見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。』この名は、『神は我々と共におられる』という意味である。」マタイ1:23

わたしたちのために生まれる救い主は「インマヌエル」と呼ばれる。インマヌエルとは「神はわたしたちと共におられる」という意味だといわれます。

だれがインマヌエル（神はわたしたちとともにおられるという事実）を経験したのでしょうか。

まずこの言葉を聞かされたヨセフ自身です。

ヨセフは悩みました。婚約者マリアの不可解な妊娠、予想される世間のうわさ、自分の名誉が損なわれ、またマリアが傷つくことの心配……。

しかし天使は「恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのだ」と言いました（マタイ 1:20）。起こったこと、起ころうとすることは、すべて神から来ており、神が責任を持ってくださる。

ヨセフは天使の声に従い、マリアを自分の妻として受け容れました。彼はこうして「インマヌエル」を経験していきます。

ヨセフより先にインマヌエルを経験したのはマリアです。

マリアは天使ガブリエルから「あなたは神の子を産む」と告げられました。

「聖霊があなたに降り、いと高き方の力があなたを包む。だから、生まれる子は聖なる者、神の子と呼ばれる。」ルカ1:35

どんなに恐ろしく不安だったことでしょう。しかしマリアは決意して天使の言葉を受け容れます。天使の最初の呼びかけはこうでした。

「おめでとう、恵まれた方。主があなたと共におられる。」

ルカ 1:28

マリアはインマヌエルを経験していきます。

そしてマリアとヨセフは一緒に「インマヌエル」を経験していきます。

マリアは臨月を迎えていました。ナザレからベツレヘムへの旅はどんなに大変だったことでしょうか。オオカミや強盗に遭う危険もあります。神のインマヌエルの約束にすぎることなくしては、とても不可能な旅でした。

ようやくベツレヘムに到着に到着したものの泊まる宿がない。マリアの出産が迫ってきます。ようやくある人が居間と家畜小屋の間に場所を提供してくれました。そしてイエスさまが誕生します。

旅の危険と、そして出産の危機にあって、神が共におられました。インマヌエルが現実となったのです。

やがて羊飼いたちが訪ねて来ます。さらに遠い東の国から博士たちが贈り物を携えてやって来て伏し拝みます。眠っている幼子とそれを囲む人たち。そこには、この世のものではないような美しい光と温かな空気が満ちています。この幼子の周りに、天使がかつてヨセフに告げたインマヌエルが、神がわたしたちと共におられるという事実が実現しています。

わたしたちはインマヌエルを経験したでしょうか。神が共におられるという経験をしたでしょうか。

確かにその経験をしたかもしれません。これからかもしれません。あるいは、経験はしたのに、それが今は曖昧になっているということがあるかもしれません。

いずれであったとしても不安になることはありません。インマヌエルの約束は揺らぐことのない神の約束です。神さまは必ずこれを経験させてくださいます。